



2022年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月14日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 市川 善教 TEL 03 (3593) 1728
 四半期報告書提出予定日 2022年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第3四半期の連結業績 (2021年9月1日～2022年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	9,920	2.1	401	3.7	892	35.9	554	38.8
2021年8月期第3四半期	9,716	3.2	386	△58.1	656	△41.6	399	△47.9

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 568百万円 (41.2%) 2021年8月期第3四半期 402百万円 (△45.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	72.35	—
2021年8月期第3四半期	52.13	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第3四半期	19,597	7,685	39.0
2021年8月期	18,528	7,215	38.8

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 7,648百万円 2021年8月期 7,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	—	—	13.00	13.00
2022年8月期	—	—	—	—	—
2022年8月期 (予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年8月期の連結業績予想 (2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	2.9	550	3.7	1,000	17.6	630	12.2	82.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年8月期3Q	7,660,000株	2021年8月期	7,660,000株
2022年8月期3Q	480株	2021年8月期	448株
2022年8月期3Q	7,659,530株	2021年8月期3Q	7,659,629株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されるなかで、ウクライナ問題や中国のゼロコロナ政策による物流の混乱やコンテナ不足、世界的な原材料価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界においては、2024年問題を2年後に控え、総合物流施策大綱(2021-2025)にも記載されているとおり「これまで進捗してこなかった物流のデジタル化や構造改革を加速度的に促進させる好機」となっています。「トラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備」を実現するために、パレット輸送は有効な手段であり、パレットの回収及び流失防止の仕組みが充実しているレンタルパレットによるパレットプールシステムへの関心は極めて高くなってきています。また、女性や高齢者を中心とした「新たな労働力の確保に向けた対策」として、当社アシストスーツへの関心も引き続き高いレベルを維持しています。

このような中、港湾地区での需要は引き続き低迷しましたが、輸送用レンタルパレット需要が着実に伸長した結果、レンタル売上は前年同期比で3.6%の成長となりました。販売売上は、原油価格上昇や円安による原材料価格高騰の影響により、前年同期実績を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,920百万円（対前年同期比2.1%増加）、営業利益は401百万円（同3.7%増加）、経常利益は892百万円（同35.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は554百万円（同38.8%増加）となりました。

各セグメントの経営成績は次の通りであります。

（物流事業）

トラックドライバーの高齢化や深刻なドライバー不足は年々高まってきており、総合物流施策大綱(2021-2025)においても、労働力不足対策と物流構造改革の推進（担い手にやさしい物流）等が提言されていること、また2024年度にトラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用されることから、各企業の物流に対する問題意識は引き続き高まっております。輸送用レンタルパレットにおいて、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収は、トラックドライバーの長時間労働の削減に繋がることもあり、引続き取扱量が拡大しています。未開拓の業界へのアプローチについては、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動が緩和されるなかで少しずつ進捗しました。保管用レンタルパレットは、コンテナ不足により依然として海外からの輸入が減少している影響で、港湾地区を中心とした需要の減少が続きました。海外事業は引き続き順調に推移しました。医薬品輸送等で需要が拡大している「なんつい」が順調に伸長し、物流IoTは前年同期比で2ケタのプラス成長となりました。アシストスーツでは、新型コロナウイルス感染症の状況が緩和されるなかでも、オンライン体験会等を有効に活用するとともに、家電量販店に続くその他の量販店へも拡販を図っております。また、ESGの観点から労働環境の改善策としての意識は高まっております。

以上の結果、物流事業では、売上高9,162百万円（対前年同期比1.5%増加）、セグメント利益1,644百万円（同28.3%増加）となりました。

（コネクティッド事業）

ICTにおいてエレベーター、駐車場精算機の遠隔監視ソリューションについては、3Gから4Gシステムへの移行が順調に進行していることや、顧客の計画前倒しにより、引き続き機器販売数は計画を上回りました。また、本年9月発売予定のDXタグは、2社で実証実験が始まりました。カーシェアリングシステムについては、半導体不足の影響による顧客のカーシェアリング車両の納車遅延が続きましたが、車載器販売は計画台数を確保しました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高758百万円（対前年同四半期比9.8%増加）、セグメント損失79百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,067百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が842百万円増加したこと及び受取手形及び売掛金が122百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,342百万円となり、前連結会計年度末に比べ微増となりました。これは主に無形固定資産が100百万円増加したこと及び投資その他の資産が82百万円増加した一方で、有形固定資産が181百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は19,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,068百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,609百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,000百万円増加したこと、買掛金が464百万円増加したこと、及び未払法人税等が188百万円増加したことによるものであります。また固定負債は6,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,010百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1,067百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,911百万円となり、前連結会計年度末に比べ599百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ469百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月期の業績予想につきましては、2022年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,714,009	3,556,575
受取手形及び売掛金	1,621,687	1,744,171
電子記録債権	149,664	177,661
商品	467,293	439,748
原材料及び貯蔵品	15,451	14,007
その他	221,331	325,733
貸倒引当金	△2,564	△3,653
流動資産合計	5,186,873	6,254,245
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	9,603,852	9,580,916
その他（純額）	2,805,018	2,646,017
有形固定資産合計	12,408,871	12,226,933
無形固定資産	347,722	447,749
投資その他の資産		
その他	597,213	680,043
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	585,263	668,093
固定資産合計	13,341,857	13,342,776
資産合計	18,528,731	19,597,021

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,217,783	1,682,162
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,681,786	1,485,036
未払法人税等	85,553	274,387
賞与引当金	171,203	307,685
役員賞与引当金	—	28,802
その他	419,863	407,771
流動負債合計	3,576,189	5,185,846
固定負債		
長期借入金	6,954,360	5,887,083
役員退職慰労引当金	525,426	542,030
退職給付に係る負債	238,139	275,778
資産除去債務	15,533	15,670
その他	3,202	5,453
固定負債合計	7,736,662	6,726,015
負債合計	11,312,852	11,911,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	6,709,453	7,164,053
自己株式	△825	△923
株主資本合計	7,195,976	7,650,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,507	5,944
為替換算調整勘定	△11,553	△7,942
その他の包括利益累計額合計	△45	△1,997
非支配株主持分	19,947	36,678
純資産合計	7,215,878	7,685,160
負債純資産合計	18,528,731	19,597,021

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）
売上高	9,716,939	9,920,849
売上原価	6,731,211	6,885,432
売上総利益	2,985,727	3,035,417
販売費及び一般管理費	2,599,002	2,634,224
営業利益	386,725	401,193
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	30
受取補償金	186,172	457,573
保険解約返戻金	75,057	—
その他	41,221	60,799
営業外収益合計	302,489	518,402
営業外費用		
支払利息	31,369	26,923
その他	1,122	85
営業外費用合計	32,491	27,009
経常利益	656,722	892,586
特別利益		
固定資産売却益	223	215
特別利益合計	223	215
特別損失		
固定資産除却損	7,883	1,233
投資有価証券評価損	6,058	—
ゴルフ会員権評価損	—	3,740
特別損失合計	13,942	4,973
税金等調整前四半期純利益	643,004	887,828
法人税、住民税及び事業税	220,853	395,203
法人税等調整額	22,890	△74,828
法人税等合計	243,743	320,375
四半期純利益	399,260	567,453
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	13,279
親会社株主に帰属する四半期純利益	399,260	554,173

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）
四半期純利益	399,260	567,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,670	△5,562
為替換算調整勘定	2,003	7,062
その他の包括利益合計	3,673	1,499
四半期包括利益	402,933	568,952
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,933	552,221
非支配株主に係る四半期包括利益	—	16,730

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,026,360	690,579	9,716,939	—	9,716,939
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	9,026,360	690,579	9,716,939	—	9,716,939
セグメント利益	1,282,337	1,370	1,283,707	△626,984	656,722

(注) 1. セグメント利益の調整額△626,984千円には、セグメント間取引消去4千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△626,988千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,162,768	758,080	9,920,849	—	9,920,849
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	9,162,768	758,080	9,920,849	—	9,920,849
セグメント利益又は 損失(△)	1,644,702	△79,581	1,565,120	△672,533	892,586

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△672,533千円には、セグメント間取引消去△1千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△672,532千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。